

ウィンタースクール「昔の遊び 凧つくりに挑戦しよう」

凧をつくり、昔の遊びを体験します。

と き 令和2年1月10日（金）
・ 午前の部 午前10時～12時
・ 午後の部 午後1時30分～3時30分

ところ 別海町郷土資料館

内 容 昔の遊び 「凧作り」

対象者及び募集人員

小学生 午前・午後の部 先着10名

申込等

12月25日（水）までに電話・FAX・メールにてお名前と電話番号をお知らせください。



自然系第2回目の様子

「初冬の野鳥観察会・コクガン・ユキホオジロを観察しよう！」実施しました。

11月30日（土）野付半島にて参加者20名で実施しました。
講師は、中春別中学校長藤井薫氏です。

●観察会の様子●

講師よりネイチャーセンターで、この時期見られる渡り鳥、コクガン・ユキホオジロのお話いただきました。その後、野付半島先端に車で移動しました。

最終番屋（池田番屋）に到着すると湾内に100羽ほどコクガンをまじかで観察することが出来参加者を喜ばせました。その後、先端に到着すると10羽程のユキホオジロの群れが飛び交い、その様子を観察しながら、日暮れを待ちました。日暮れと同時に野付半島の湾内からコクガンの雁行が一斉にはじまりました。数千羽のコクガンがねぐらへ向かう様子は、圧巻でした。（下の写真）

強風で寒くコンディションも悪い中、お目当ての鳥を十分に観察することが出来ました。

●観察出来た野鳥など●

コクガン・ユキホオジロ・オオワシ・オジロワシ・オオハクチョウ・ハマシギ・トビ・カワウ・ミミカイツブリ・アビ・ウミアイサ・スズガモ・ヒメウ・コオリガモ・クロガモ・シノリガモ・シロカモメ・カモメ・ヒドリガモ・ゴマフアザラシ



「昔のくらしと道具」を調べる授業に郷土資料館が利用されています。

11月は、上春別小学校3年生が来館されました。

小学校3年生の社会科には、「昔のくらしと昔の道具」という単元があり、町内のほとんどの学校が当館を利用してくれます。当館では、道具を見学するだけでなく、実際に道具を使う体験も行っています。体験する道具は、「炭火アイロン」「火のし」「洗濯板」「湯たんぽ」「灯油ランプ」「せんべい焼き」で、使い慣れない道具に悪戦苦闘しながら、昔の生活の様子を少しでも感じてもらおうと考えました。なかでも、重たいせんべい焼き器で、焼くせんべいは、おいしいと評判です。

11月15日（火）上春別小学校3年生15名が来館されました。沢山の道具などを見学し、昔の道具を体験していただきました。

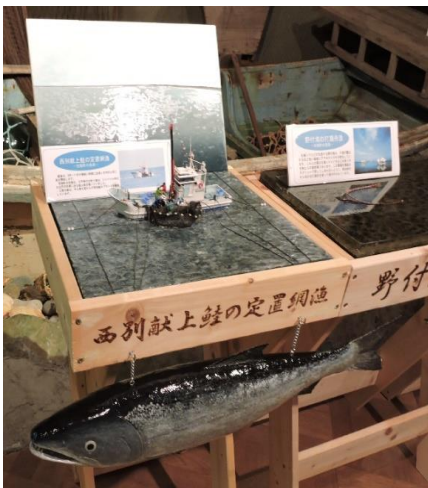


せんべい焼き体験

サケの模型を作りました。

西別献上鮭の定置網漁のジオラマを作成・展示（写真左）していましたが、この度、江戸の将軍に献上していたサケと同サイズのサケの模型（写真右）を作成し展示しました。

大きさは2尺2寸（約66cm）、色なども極上のサケにこだわり彩色されております。郷土資料館のほか、加賀家文書館でも見学しておりますので、ぜひ、ご来館ください。



別海町郷土資料館だより No.245

発行日 令和元年12月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

コクガンの雁行、昨年に引き続き3回目ですが、とにかく圧倒的でスケールが違います。ここでしか見れないもので、このような観察会も当町ならではのものです。これも積極的な調査・研究活動の賜物です。(K.I)